

## 平成28年度 第1回射水市少子化対策推進委員会幼稚園部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成28年8月24日(水) 午後7時30分～午後8時10分
  - 2 開催場所 射水市役所小杉庁舎402会議室
  - 3 出席者
    - (1) 推進委員会委員  
石津委員(部会長)、宮田委員(副部会長)、長原委員、上田委員、関委員、前田委員、森瀬委員、殿村委員、宮垣委員、奥多委員、三川委員
    - (2) 当局  
福祉保健部長、子育て支援課長、学校教育課長、本江幼稚園長、七美幼稚園長、大門わかば幼稚園長、子育て支援課員3名、学校教育課員1名
  - 4 欠席者 中出委員、矢後委員
- 

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 正副部会長選出
- 4 議 事
  - (1) 市立幼稚園の現状と課題について
  - (2) 幼稚園部会の設置(再開)について
  - (3) 市立幼稚園の今後のあり方について
- 5 閉 会

## 正副部会長選出

要綱に基づき、委員の互選により石津委員を部会長に、宮田委員を副部会長に選出した。

### 《議事要旨》

(1) 市立幼稚園の現状と課題について

(2) 幼稚園部会の設置(再開)について

(3) 市立幼稚園の今後のあり方について

※一括審議

(委員) 過去、22年、26年にも七美幼稚園、本江幼稚園の問題ということで、その時から会議に出席しているが状況がその時と変わってきている。

当時は、園児数もそれなりの数がいたことから、それを背景として地域の伝統を守らなければならないということで主張してきたが、実際に幼稚園に今年は1名しか入園しない、来年も1名しか入園予定がないという現状を見たときには、これは伝統をどうこういうよりも、今回の七美幼稚園へという保護者会の意見を重視して、私たち地元地域振興会は一つの進め方として受け止め、現時点で、一つ一つまとめていかないと前に進まないことから、それはそれでいいと思う。

今後の認定こども園化は、七美幼稚園の建物自体も36年経過して老朽化していることを考えた時には、こういったことも今後真剣に視野に入れて、やはり地元も納得できるようなまとめ方が必要ではないかと考えている。

(部会長) 数年前とは状況が変わって、保護者の方々の意見を尊重されたいということです。

それでは、先ほど事務局から提案された本江幼稚園は来年度の入園募集を停止し、休園又は廃園については11月ごろまでに結論を出すことを了承することよろしいか。

(各委員) 異議なし

(部会長) 七美幼稚園及び大門わかば幼稚園の今後のあり方について、ご意見・ご質問がありましたらよろしく願いいたします。

(委員) 保育所は、働いていなければ入れないというのが今の制度です。  
働いていない方は、幼稚園にしか行く場所がないという現状が実際にあり、

地域にいて働いていても働いていなくても、それぞれの人が行けるように市が保育所とか幼稚園等の施設をきちんと整備して、保護者がそこに行けるように選択するような道筋を付けてくださいというのが、正しい子ども子育て支援制度です。

認定こども園の制度というのは、幼稚園と保育所を一緒にした制度なので中身的に非常に難しいということがあります。それを七美幼稚園、大門わかば幼稚園は、今は幼稚園ですが、その近辺には保育所があるわけで、その保育所との関係をどうつなぐかということや、また本江幼稚園が廃止ということになったとしても、全員が七美幼稚園に行くのかというと、近くの施設のどこかが認定こども園になった場合には認定こども園に行くかもしれないということも含めて、今の制度の中で、1号・2号の両方子どもたちが希望する施設に行くことができるように、施設整備のあり方をしっかりと市として長期計画の中でやっていただきたい。

それと実はなぜ幼稚園の園児が減ったかということ、保護者は、核家族化が進んで子育てが不安で仕方が無いということがあります。つまり、家庭にいると1・2歳は家庭で子育てをしなければならず、幼稚園に入園できる3歳までは待てない、そういう環境が幼稚園の園児数減少の要因の一つになっている。もちろん働くことが悪いと言っているわけではないが、ただそういう面もあるので、やはり市の政策として、施設面をきちんと整備するというのは当然ですが、保護者の子育て環境をうまく整備することによって、家庭で育てようという保護者が増える可能性もある。

先日、県の少子化対策委員会で県内のある首長さんが「うちは0歳の家庭で育てる保護者に1年に70万円お金を払っている」と発言されていました。つまり預けなくても家庭で見たいという保護者がいるのなら、そういう手だてを考えるなど、子育て環境も一緒に考えていただきたい。

(部会長) 働き方がどうであっても選択できるようにしなくてはならない。また、子育て環境を充実して認定こども園のあり方についても考えていかなければと思う。

(委員) 他のどの市も、どの地区も幼稚園園児数の激減が問題になっているところであり、委員の言われる通りだと思う。

大門地区には、大門わかば幼稚園と大門きらら保育園とよく似た建物が二つ並んでいるので、いずれどちらかが無くなるのではという不安があり、幼稚園と保育園がうまく融合ができるような、幼稚園・保育園施設の計画を立てていただけると良い。

保育園と幼稚園の園児は、いずれ全員小学校に行くことになるが、小学校としっかり連携ができるような体制、システムを構築し、親が安心して子育てができるような射水市になっていただきたい。

保育園も大切だが、幼児教育という大切さをもっとアピールしていただきたい。今、このような制度が変わっていく中で、富山型デイサービスではないが、射水市らしい幼児教育のあり方というものと一緒に考えていっていただけるとありがたい。

(委員) 今後、本江幼稚園のお子さんが七美幼稚園に行くということは、これはやむなしだと思う。ただし、七美幼稚園もいずれ園児は減っていくと予測される。

そのような中で、行政もいろいろ考えていると思うが、本江幼稚園も七美幼稚園も築36年という古い建屋ですから、今後、どのようにしていくかということもきちんと考えていかなければいけないと思っている。

本江幼稚園と七美幼稚園を合わせて、3学年で35人、もう少したてば30人を割る可能性もあることから、我々も一緒にご協議していきたい。

(委員) 本江幼稚園が、今年度で休園もしくは廃園になり、もし七美幼稚園も今後無くなってしまうと、これから幼稚園、保育園に入園する方の選択肢がこの地区では1つだけになってしまう。周りの地区をみると幼稚園も保育園もありたくさん選べる状況なので、今後のあり方も考えていただけたらと思う。

(部会長) 只今、ご意見をいただいた色々な不安も含めて、これから公表される「市の公共施設等総合管理計画」を見てから、こういうことも含めて、部会あるいは委員会等で検討していくということによろしいか。

(各委員) 異議なし

(部会長) 本日子定しておりました議事は以上です。